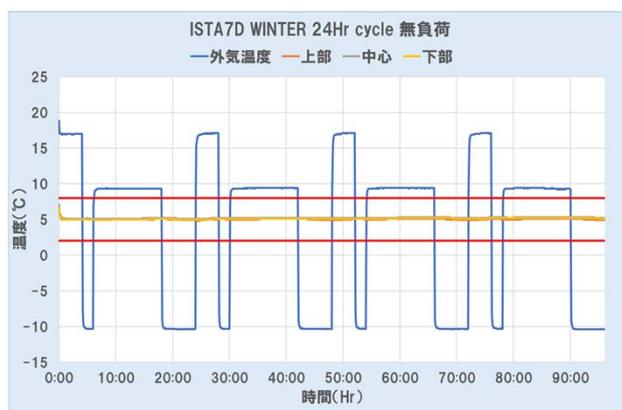
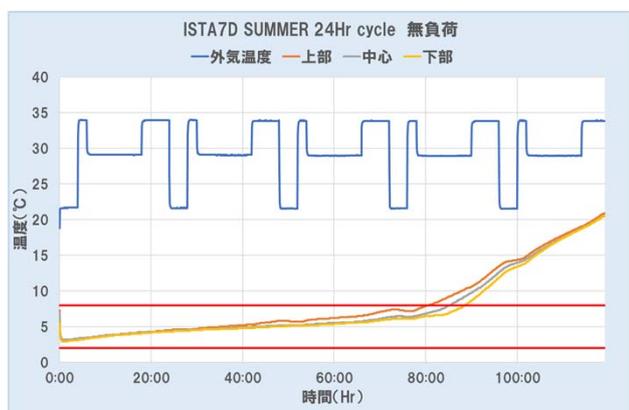


パッケージ概要

管理温度	外寸 (mm)	荷室 (mm)	重量 (kg)
2-8℃	約505×505×H473	約293×293×H255	約15

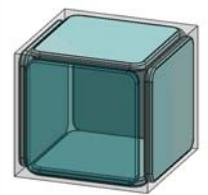
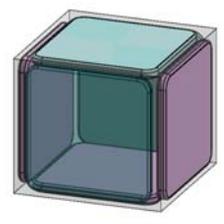
温度測定試験結果 (n=3試験での最短保持時間を表記しています。)

温度試験条件	無負荷	有負荷
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	約80時間	約83時間
ISTA7D WINTER 24Hr cycle	96時間以上	96時間以上



荷室内温度が各測定位置でほぼ同温度で推移する場合、上記グラフの各測定位置の温度推移が重なって見えます。

カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO® 事前調温方法

試験規格	蓄熱材数量	蓄熱材事前調温 (例)	蓄熱材配置 (水色:凝固 紫色:融解)
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	6枚	【全凝固】 PATTHEMO®F5を-20℃で24時間以上凝固後、2℃で調温し蓄熱材表面温度が2～5℃であることを確認し使用する。	 凝固：各面1枚
ISTA7D WINTER 24Hr cycle		【3枚凝固】 PATTHEMO®F5を-20℃で24時間以上凝固後、5℃で調温し蓄熱材表面温度が2～5℃であることを確認し使用する。 【3枚融解】 PATTHEMO®F5を約10～25℃で24時間以上放置後、5℃で調温し蓄熱材表面温度が5～8℃であることを確認し使用する。	 凝固：天面及び側面对面各1枚 融解：底面及び側面对面各1枚

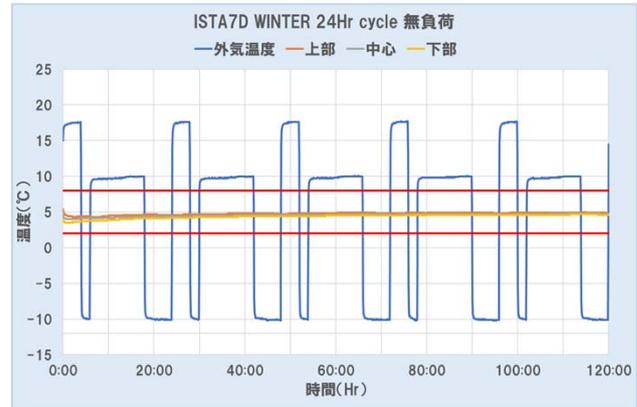
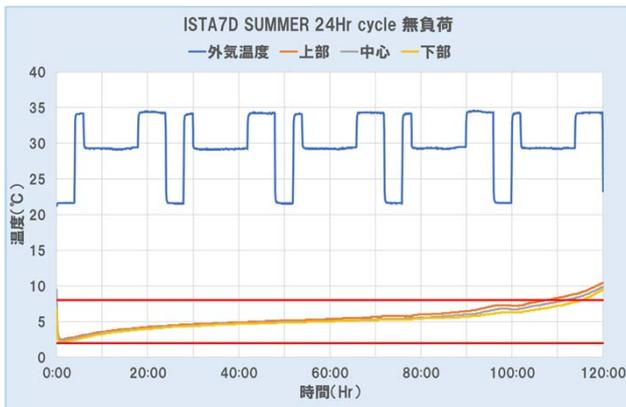
本カタログ内の各種数値・グラフは、社内試験結果であり実際の使用環境とは異なるため、本製品の温度保持機能や使用中の環境温度を保証するものではありません。

パッケージ概要

管理温度	外寸 (mm)	荷室 (mm)	重量 (kg)
2-8℃	約505×505×H473	約293×293×H205	約18

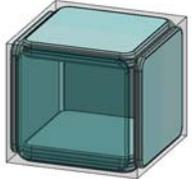
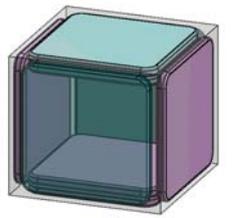
温度測定試験結果 (n=3試験での最短保持時間を表記しています。)

温度試験条件	無負荷	有負荷
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	約107時間	約110時間
ISTA7D WINTER 24Hr cycle	120時間以上	120時間以上



荷室内温度が各測定位置でほぼ同温度で推移する場合、上記グラフの各測定位置の温度推移が重なって見えます。

カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO®事前調温方法

試験規格	蓄熱材数量	蓄熱材事前調温 (例)	蓄熱材配置 (水色:凝固 紫色:融解)
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	8枚	【全凝固】 PATTHERMO®F5を-20℃で24時間以上凝固後、2℃で調温し蓄熱材表面温度が2～5℃であることを確認し使用する。	 凝固：天面・底面各2枚、側面各1枚
ISTA7D WINTER 24Hr cycle		【4枚凝固】 PATTHERMO®F5を-20℃で24時間以上凝固後、5℃で調温し蓄熱材表面温度が2～5℃であることを確認し使用する。 【4枚融解】 PATTHERMO®F5を約10～25℃で24時間以上放置後、5℃で調温し蓄熱材表面温度が5～8℃であることを確認し使用する。	 凝固：天面2枚及び側面对面各1枚 融解：底面2枚及び側面对面各1枚

本カタログ内の各種数値・グラフは、社内試験結果であり実際の使用環境とは異なるため、本製品の温度保持機能や使用中の環境温度を保証するものではありません。